

視聴覚教育

NO. 245
 発行日 10. 9. 1
 発行 岡崎市AVL
 編集 現職教育委員会
 視聴覚部

視聴覚用語
 『INS・DEL・BSI
 NEC PC-9800シリーズ
 パソコンのキーボードで表
 示されている。操作キー
 の一部。それぞれ、「Insert
 インサート」(挿入キー)、
 「Delete デリート」(削除
 キー)、「BackSpace バッ
 クスペース」(後退キー)
 をさす。

夏期実技講習会報告

学校が夏季休業に入った七月中旬から八月上旬にかけて、視聴覚関係の実技講習会を開催しました。

◆視聴覚教育技術者講習会

七月二十五日(土)

於 情報ネットワークセンター
 十六ミリ映写機の取り扱い資格者養成を目的として実施しました。社会教育関係者五十名、学校関係者五十九名の参加を得ました。映写機の台数を増やして機器にふれる時間を確保したり、用意したビデオで操作方法を学習したりと、自身の濃い講習会になりました。

◆VTR実技講習会

七月三十一日(金)

於 情報ネットワークセンター
 初級コースに社会教育関係者七名、学校教育関係者五名、中級コースに社会教育関係者五名、学校教育関係者十三名、計三十名の参加を得て行いました。初級コースでは撮影を中心とした実習を行い、中級コースでは持ち寄った映像を

編集して一本の作品に仕上げました。

◆校内放送講習会

八月四日(火)

於 情報ネットワークセンター
 市内の小中学校から、放送担当の児童生徒と教員約二百名の参加を得て行いました。小豆坂小学校と北中学校の校内放送の実践発表に引き続き、東海ラジオ放送の森木曜子アナウンサーによるアナウンスの楽しさや技術、意義についての講演と実技指導が行われました。現場でのエピソードをまじえた講演がとても好評でした。



◆パソコン講演会

七月三十一日(金)

於 梅園小・根石小学校
 市内小中学校の教員四十六名の参加を得て、新しいパソコン教室で講習会を行いました。授業で使えるソフトを利用して実習を進めたり、LANの利用についての研修を深めました。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

中学校放送コンテスト

県大会の結果

七月四日(土)、名古屋市教育局会館において、平成十年度第十五回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会が行われた。岡崎市内の中学校の結果は以下の通りである。

《アナウンスの部》

・最優秀賞 梅村 亜衣(城北中)

・優秀賞 川本 晶子(葵 中)

・優良賞 峰澤佐由巳(常磐中)

・入選 森川 菜穂(城北中)

・入選 大竹 見和(葵 中)

・入選 近藤 示佳(城北中)

《朗読部門》

・優秀賞 浅井千代子(城北中)

・優良賞 山本 梓(葵 中)

・入選 成瀬真千子(美川中)

・入選 大塚 美幸(葵 中)

《テレビ番組部門》

・優秀賞 『ハンディキャップを乗り越えて』

優良賞 『私たちの発見の旅 自然教室』

入選 『乙川ってきれい』

『ラジオ番組部門』

・優秀賞 『あしたはきつと晴れるよね』

矢作中学校

常磐中学校
美川中学校
美川中学校
矢作中学校

パソコンを使って 話し合う数学の授業

東海中学校 岡本 義文

本校では「他とのかかり合い」を大切にしていた授業を研究している。数学の授業で、より楽しく「他とのかかり合い」がもてるように、パソコンを用いた授業を実践してみることにした。

単元は「連立方程式」。濃度の異なる二つの食塩水を混ぜ合わせて、新しい濃度の食塩水を作り出すことが学習課題である。生徒は二人一組でパソコンの画面に見入りながら、ぴったり合う分量を、シミュレーションを通して懸命に探し出した。

この授業での「かかわり合い」の場面は、パソコン操作に不慣れな中で、生徒がいかに予想を立て、協力してそれぞれの濃度を見つけ出していかである。最初は操作に戸惑いがちな生徒も、二人で試行錯誤していくうち、自分の意見を相手に聞いてもらいながら操作を進めていく様子が見られた。

パソコン画面のピーカーの絵は、生徒の問題を解決しようとする意欲をかき立



てたようである。また、イメージが浮かびにくい食塩水の問題をシミュレーションで視覚に訴えることが、効果的であった。クラス全員の前でなかなか意見の言えない生徒も、二人一組になつての共同操作を経て、自然と話し合いも活発になった。

今後、パソコンを用いた授業を展開する中で、少しずつ「かかわり合い」の輪を広げていけるような授業の工夫を試みていきたい。

II レッツ・トライ II

教室内ネットワークの利用

小学校のパソコン室では先生用と児童用パソコンの間でネットワークが組まれています。「先生のなんでも」フォルダは、作成したファイルの保存・読み込みができます。これを利用し、学級ごとに同一課題の調べ学習を行ったり、観察日記などのノートをパソコンを使ってHTML形式で作成します。スキャナーで読みとった絵や写真の画像を張りつけ、文章を書き込みます。indexへのリンクを作っておくと利用しやすくなります。児童用パソコンでブラウザソフトを起動し、「先生のなんでも」フォルダ内の他の班や学級の作品が閲覧でき、学習情報を交換できます。「先生のなんでも」フォルダに感想や意見を、日記として保存することで情報を交換し、追究を深めることができます。

(教育情報主任会 広報部)

ライブラリーだより

☆自作OHP・TP作品募集

市内の幼稚園や小中学校に勤務する先生方の自作したTP教材を募集しています。

・規定

- (1) 一時間または一単元で、教材・領域は自由
- (2) 一人一作品または一グループ(代表者明記)一作品
- (3) TP枚数は制限なし
- (4) 未発表のもの(ただし、コピーなど著作権に抵触しないように配慮すること)で、作成方法は自由

・応募方法

- (1) TP一枚ごとに学校・園名、氏名を記入
- (2) 厚手の封筒に作品を入れ、出し入れしやすいように配慮
- (3) 応募個票一枚を封筒の表に貼付
- (4) 応募個票八枚とTPを同封

・応募先

岡崎市視聴覚ライブラリー

十月六日(火)

※アイデアに富んだ作品をお待ちしております。どしどし応募してください。

☆教材配達サービスのお知らせ

二学期の教材配達サービスは、九月八日(火)から開始します。できる限りご要望にお応えしたいと思えます。ご利用ください。